

雲北陵月報

No. 381

平成29年 5月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

総体を前に各々が躍進

卓球部

第64回中国高等学校卓球選手権島根県予選大会
於時 4月21日～23日
益田市民体育館

〈男子団体〉2位
〈男子シングルス〉

2位 津村優斗(13歳)
3位 山本駿介(12歳)、井上友希(13歳)
〈男子ダブルス〉
2位 山本駿介・井上友希組
※県予選を突破した団体戦、シングルス7名、ダブルス3組が県代表として中国大会に出場。
○大会総評
すべての種目で優勝を逃したが、生徒は最後まで諦めることなく、精一杯頑張った。1ヵ月後のインターハイ予選に向けて、気持ちの切り替えて頑張りたい。



シングルス準優勝の津村優斗

(顧問 古瀬泰之)

男子団体 9年連続11回目の優勝!

第13回出雲市オープン卓球大会

於時 4月30日
カミアリーナ

〈男子団体〉
優勝 出雲北陵A(細・津村・山本・井上)

3位 出雲北陵B(大野・武・山本・原田)

優勝 津村優斗
2位 山本駿介
3位 井上友希、山本 歩(中3)

○大会総評
社会人を連破し、団体・個人共に優勝し、上位を独占することができた。県高校総体に向けて、チームのムードを高まってきた。コンディションを整えて県総体に臨みたい。
(顧問 古瀬泰之)

ソフトテニス部

平成29年度 県高校ソフトテニスシングルス大会

於時 4月22日
浜山運動公園テニスコート
ベスト16 奥田壮志郎(35歳)、吉川直人(35歳)

平成29年度 ソフトテニス中国大会県予選

於時 4月28日～30日
浜山運動公園テニスコート
団体 準優勝
〈団体メンバー〉
奥田壮志郎、吉川直人、吹金原侑治、嵐谷文也、青木 廉、竹縄仁人、今岡純也、日野坪雄大

2回戦 大田 津
準々決勝 ②①① 江 津
準決勝 ②①① 石見智翠館
決勝 ①①② 松江工業
個人(6ペアが県総体でのシード権獲得)
ベスト8 吹金原侑治(35歳)・青木 廉(34歳)

女子バスケットボール部

第61回中国高等学校バスケットボール選手権大会

於時 5月12日～14日
山口市 鳥取東

1回戦 本校 53-70
○大会総評
前半30対35で5点差を追いかける展開となった。第3ピリオドではシュートが決まらず5分以上得点することができなかった。徐々に点差も離され、悔しい敗戦となった。今後県総体に向け、もう一度自分達のバスケットを見直したい。当日は保護者の皆様から声援いただき、有難うございました。
(顧問 篠原勝利)

男女バスケットボール部

中国高校選手権大会 県一次予選

於時 4月15日・16日
県立体育館

〈男子〉
1回戦 本校 181-15 平田
2回戦 本校 63-83 浜田
3回戦 本校 57-56 松江高専
〈女子〉
1回戦 本校 72-81 矢上
2回戦 本校 70-25 明誠
3回戦 本校 60-54 雲
男女ともにブロック突破

同 県二次予選

於時 4月22日・23日
鹿島町体育館
決勝リーグ 本校 85-115 松江西

吹奏楽部

第22回吹奏楽部定期演奏会

於時 5月21日
屋の部 14時 開演
夜の部 18時30分 開演
出雲市民会館大ホール

第22回となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1400名を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となるコンサートとなった。スペシャルゲストには、本校と初共演となるスチールパン奏者の中野優希さんをお招きした。スチールパンの柔らかな音色と魅力あふれる音楽に観客は魅了され、大いに盛り上がり、共演をした部員達にとっても大変貴重な経験となった。この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の皆様をはじめ、多くの方々への支えがあったことであり、部員一同感謝すると共に、今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していきたい。
(顧問 原田 実)



◆ご寄付のお礼◆

イトー建設様より多額のご寄付を頂戴しました。厚くお礼申し上げます。

卓球部
なぎなた部
島根県重点強化校に指定

この度、卓球部となぎなた部が島根県体育協会より重点強化校に指定され、今後3年間の県外遠征費や招請合宿費用を補助していただけることになりました。重点強化指定校に恥じない成績を残せるように、今後も日々精進していききたいと思います。



陸上競技部

高瀬里佳子 (3-5河) 中国選手権出場権獲得
第71回出雲陸上競技大会

柳原竜聖 (34平田) 円盤投 3位
安喰昌太 (21出雲) 円盤投 6位
高瀬里佳子 (35河) 走幅跳 4位
周藤成美 (23向陽) 砲丸投 4位

第71回島根選手権陸上競技大会

安喰昌太 円盤投 8位
高瀬里佳子 三段跳 4位

第60回出雲地区中学校陸上競技大会

永岡歩望 (中2柳) 2年100m 出場
全学年400m 出場

○大会総評
シーズンが始まり、今年度はフ

野球部

平成29年度島根高等学校春季野球大会中部地区予選

本校 00000010
大田 11001112 × 81

テニス部

県高校個人テニス選手権大会

〈男子シングルス〉
2回戦 浦部(32畑) 3-0 上野(出雲)
〈男子ダブルス〉 1回戦敗退
〈女子シングルス〉
3回戦 福島(33出) 0-6 毛利(浜田)
3回戦 福島(31畑) 2-0 武田・足立(出雲)

○大会総評
総体の個人戦と団体戦のシード権を獲得すべく大会に臨んだが、残念な結果となった。今後、総体までは各大会を通して調整することとなる。大会を自信につなげ、総体に全力で向って欲しい。

(顧問 石川剛巨)

春季野外活動

本校恒例の「春季野外活動」を行い、中学生・高校生・教員が一緒になって浜山公園まで出かけました。前日から天候が悪く心配していましたが、徐々に天候も回復し午後には晴れ模様になりました。



初めての経験で苦しく感じた生徒もいたようですが、それ以上に充実感や達成感を感じた生徒が多くいたのではないのでしょうか。この体験を学校生活に生かし、頑張りたいと願っています。

一斉書写

本校恒例行事である「一斉書写」を実施しました。これは集中力を養い、授業に臨む心構えを整えることを目的としています。

静かで緊張感のある雰囲気の中、それぞれ真剣に取り組みました。



新体力テスト・身体測定

新体力テスト・身体測定を併せて校内で実施しました。中学生と高校生の全員が参加し、50m走や反復横とび、立幅跳びに取り組み、身長や体重等の測定を行いました。



日頃から自分自身の身体管理に興味関心を持ち、健康で活気溢れる一年を過ごして欲しいと思います。

高校生徒総会開催

5月11日の4限に体育館に全校生徒が集まり、平成29年度出雲北陵高等学校生徒総会が行われました。大野生徒会長の開会の挨拶から始まり、執行部並びに専門部役員の紹介、監査報告または今年度の生徒会の活動方針まで審議することができ、とても有意義な会になりました。

その今年度の生徒会スローガンは「凡時徹底し、あたり前をあたり前に」で、コンセプトは「生徒みんなが自己実現を目指して、充実した学校生活を送ろう」に決まりました。



中学校

卓球部

第13回出雲市オープン卓球選手権大会(中学生の部)
 時 4月22日
 於 平田体育館
 (男子団体) 優勝 (4年連続7回目)
 (男子個人)

優勝 原田哲多(中2西)
 2位 山本歩(中3条)
 3位 三村悠斗(中3山)、杉浦大和(中1類)

第68回岡山近府県卓球選手権大会(中学生の部)
 時 5月3・4日
 於 ジップアリーナ岡山

(男子団体) 2位
 (男子個人)
 優勝 山本歩
 3位 三村悠斗
 ベスト8 原田哲多

第40回島根県中学生卓球選手権大会
 時 5月6日
 於 松江市総合体育館

(男子個人) 優勝 (6年連続8回目)
 (男子団体)
 優勝 山本歩
 2位 原田哲多
 3位 三村悠斗、山腰洋平(中3組)
 ベスト8 杉浦大和、津村真斗(中1組)
 ○大会総評
 各種大会、それぞれの個性を生かしたプレーで上位進出することができた。特に3年生の頑張りが光った。この調子で総体も頑張りたい。
 (顧問 相場翔太)

野球部

出雲部中学校春季野球大会
 時 5月3・4日
 於 湖陵球場

1回戦 本校 4-10 多伎中
 2回戦 本校 4-17 大社中

全日本少年軟式野球大会出雲支部予選
 時 5月6・7日
 於 斐川球場・浜山少年球場

1回戦 本校 3-10 出雲三中
 2回戦 本校 8-11 浜山中
 準決勝 本校 0-11 斐川西中
 3位決戦 本校 6-10 多伎中
 ○大会総評
 出雲・雲南ブロック大会への出場権を獲得しました。県優勝を目指し頑張ります。
 (顧問 手銭修司)

テニス部

RSK杯全国選抜ジュニア選手権県予選
 時 4月29日
 於 安来運動公園

(13歳以下男子シングルス)
 2回戦 石川(中2組) 0-6 安村(グリーン)
 (13歳以下女子シングルス)
 2回戦 森(中1組) 1-8 岩田(さくら)

中国ジュニアテニス選手権県予選
 時 5月5・6日
 於 松江総合運動公園

(14歳以下男子シングルス)
 準決勝 駿馬(中2組) 8-13 河内(吉賀町)
 決勝 駿馬 4-8 金坂(UMEZU)
 準優勝により中国大会(広島) 出場決定!
 (14歳以下男子ダブルス)
 準決勝 駿馬・金坂 8-12 松浦(グリーン)・河内
 決勝 駿馬・金坂 8-16 岩本(吉賀町)・角間(星中)
 優勝により中国大会出場決定!
 ○大会総評
 駿馬が、シングルスではフォアストロークを武器に勝ち進み準優勝することができた。ダブルスでは第1シードの相手に対し、高低や緩急を使ったストロークで相手にテニスさせず勝利し、ダブルスの醍醐味を見せ優勝した。
 (顧問 石川剛己)

男女バスケットボール部

第28回JAWS CUP中学校バスケットボール歓大会
 時 5月3・4日
 於 三朝総合スポーツセンター
 あやめ池スポーツセンター体育館
 大栄中学校体育館

(男子)
 1回戦 本校 29-49 久米

2回戦 本校 32-53 大栄
 Cブロック敗退、4位トーナメントへ
 (4位トーナメント)
 1回戦 本校 46-48 赤碕
 2回戦 本校 31-60 倉敷第一
 (女子)
 (予選)
 本校 84-29 倉吉西(鳥取)
 本校 59-40 東郷(鳥取)
 1位トーナメント進出
 (1位トーナメント)
 本校 47-39 倉吉東(鳥取)
 本校 51-58 北浜(鳥取)
 第4位

中学校生徒総会

時 5月11日
 於 北陵ホール



生徒会となつて最初の大きな行事となる生徒総会が開催されました。各委員会の活動報告、会計決算と予算について審議承認された後、執行部と各専門委員、会に分かれ、今年度の目標と活動内容について協議が行われ、目標は次の通り決まりました。
 《生徒会執行部の目標》
 「メリハリのある学校」
 《各専門委員会の目標》
 「けが無く安全に運動する」
 ○環境委員会
 「きれいで過ごしやすい学校を作る」
 ○文化委員会
 「文化祭を盛り上げよう」
 ○生活委員会
 「当たり前前の事を当たり前前にしよう」
 「しっかりと生活習慣を身に付けよう」
 朝から元気にあいさつをしよう」

授業参観・保護者会総会開催

時 5月2日
 於 北陵ホール他
 平成29年度保護者会総会を開催しま

した。まず社会、英語I、数学、国語の各教科の授業を参観していただいた後、今年度は保護者会研修会として、出雲警察署生活安全課藤井様から、ネットワーク犯罪に巻き込まれない対策について講話を聞きました。
 総会では、昨年度の事業及び決算報告、今年度新役員選出、事業計画、予算案について審議、承認されました。より充実した教育活動が行えるよう取り組んでいきたいと思ひます。
 新役員の皆様は次の通りです。
 会長 小豆澤貴洋 様(2年)
 副会長 片岡靖裕 様(3年)
 副会長 大月邦弘 様(2年)
 監事 手島広海 様(2年)
 監事 板倉広明 様(1年)

中学校合同道徳

時 5月22日
 講師 高橋豊 副校長先生

私は、高橋副校長先生の話を聞かせていただき、三つのことが心に残りました。一つ目は全米オープン敗戦後でありながら相手を称え、優勝を祝福した錦織圭選手の素晴らしさです。周囲への感謝の言葉や自分の目標に向けての前向きな言動に感動しました。
 二つ目は感謝とは有難うという気持ちを自分らしく表現することであること。そして三つ目に命の大切さについて教わりました。生活できること、元



ど当たり前前にすることなど感謝することは大切なことだと改めて思いました。そして、一日一日を大切に、周囲に感謝の気持ちを表現できる人になりたいです。
 木椀野々花(中3組)

作品と研究

1年生が入学して一ヶ月になり、また、高校1年生普通コースの国語総合では、『メッセージ探しの旅』という作品を学びます。この中で作者とポプリア研究家の熊井明子さんは、同じ『赤毛のアン』という本がその後の人生を左右したとあります。

今まで読んだ本の中で、心に響いたものがあるでしょうか。また、自分の将来のために読みたい本があるでしょうか。1年2組の生徒の皆さんが作文しました。

福島 悠太(12歳)

私が今まで読んだ本の中で最も影響を受けたのは『なぜ、あなたのやる気は続かないのか』です。この本を手にしたのは中学を卒業した後でした。その頃の私は勉強について悩んでおり、両親と相談してこの本を購入しました。買った時は「本だけじゃ、やる気なんて出るわけないし、そういうのは小学生の頃から頑張ってきた人だけがわかるもの」と思っていました。

しかし、この本は私の考えを根底から覆しました。まず、もともと本を読む習慣がなく、読書が苦手の私が、ストラと読み終えてしまいました。また、やる気なんて出そうと思っても出せるもんじゃないと決めてつけていきましたが、この本の中に「まず何か目標を設定し、達成した時の喜びを感じてみるのです」という一文に惹かれました。私は今まで目標を立てることをしなかったので、目標のために頑張ることがモチベーションも上げることができました。本は、その中のたった一文であっても人に影響を与えるのだとわかり

ました。私は写真部に所属しています。写真は瞬間を大切にします。一瞬を捉えた一枚の写真が、人生を左右することだってあります。私はそんな写真を撮りたいという目標を掲げています。

飯島 早騎(12歳)

私が影響を受けた本は『コウノドリ』です。

この本の内容は、産科医として働く男性、鴻鳥(こうのとり)サクラの話です。彼には生まれてから大人になるまで三人の母親がいます。産みの母、乳児院で三歳まで育てた母、そして大人になるまで育てた養護施設(ようご)の母です。彼はこの三人の母から「命の大切さ」を知り、母子の命を守る産科医になる決意をします。

私は当たり前のように生まれて、当たり前に育てられていますが、この本を読んでとても感動し、改めて命の大切さを知ることができました。

この本の主人公はとても前向きで、かっこいいです。私はいつもネガティブ思考で、ポジティブになることができません。しかし、この本を読んで、少しポジティブになれた気がします。高校に入学して、新しい環境の中でやっていけるかどうか心配でしたが、少しずつ慣れてくると、自分からも声をかけることができ、今では楽しく学校生活を送っています。この本のおかげで、私は自分を少し変えられました。これから前向きな心で過ごしていきたいです。



山本 駿介(12歳)

私は以前、元日本代表でサッカー選手の中村俊輔さんの「察知力」という本を読んだことがあります。この本を読もうと思ったのは、同じスポーツマンとして中村さんの考え方を参考にしたい、自分ももっと成長したかったからです。

私はこの本から三つのことを学びました。一つは「ノートに書く」ことです。私はそれまではノートに書くことはありませんでした。しかし、ノートに日々の練習の反省や試合での課題、先生に言われたことなどを書き留めておくと、長く記憶に留めることができると学びました。二つ目は「目標を設定すること」です。目標は一つと決めていましたが、中村さんは「前期」「中期」「後期」の三つに分け、それぞれに目標を立てます。三つにすることで明確になり、徐々に目標達成に近づきます。私も三段階目標を設定することにしました。三つ目は「色々な人から学びがある」ことです。どんな人からも学ぶことができます。それを自分が「察知」できるかどうかです。本のタイトルにもある「察知力」です。私はこの「察知力」を身に付けたいと思います。この本を読んで、自分が成長していける良い経験になりました。

金山 奈知(12歳)

将来というと、私はまだ明確なものはありません。しかし、人と関わる仕事がしたいと思っています。人と関わるということ、人と話すことが上手いこと、笑顔が自然に出ること、挨拶がきちんとできることなどがあると思います。私はまず、社会人として必要なこと、大切なこと

が書いてある本を読みたいと思います。経験豊富な人が書いた本はきっと自分にプラスになると思います。誰だって「仕事を辞めたい」と思うことがあると思います。私もそう思う時があるでしょう。そういう気持ちをなくすにはどうしたら良いのかということが書いてあると参考になります。また、私は緊張すると「作り笑顔」になってしまうので、その直し方の載っている本があると読みたいです。さらに、精神的にきつくなった時や投げ出したくなった時にどうしたら良いのかが書いてある本も読みたいです。

これから将来について考える時間が増えてくると思います。それまでに読んでおいたほうが良い本がたくさんあると思うので、探してみたいと思います。

第15回進級展出品作品

今月1枚「インコ」

舟木 愛海(3歳)

